

第3回「市民と市長のふれあいトーク」の内容(要旨)

と き 1月30日(水)

テーマ 視覚障害者の健康づくり

参加者 智和 譲さん(国分寺)、内田 収さん(田町)、奥西敦子さん(大田)
大山晶子さん(上之町)、中山恭子さん(沼)

スポーツやパソコンなど 前向きに取り組んでいます

参加者からは、2年前に「走る会」というグループを作り、視覚障害者が積極的に外出をして体を動かす活動を行っていて、マラソンや登山にも挑戦していること、視覚障害者がパソコンの音声読み上げソフトを使って、メールのやり取りやインターネットを利用するなど、前向きに生活していることが紹介されました。

障害者の立場にたった整備を

参加者からは、歩道の点字ブロックに劣化箇所があることや、点字ブロックの色が灰色だと弱視者には見えないなどの指摘がありました。また、計画中のJR津山駅周辺整備では、障害者の利用を考慮するように提言がありました。

市長は、点字ブロックの修繕や施設整備など、できる限り対応していきたいと話しました。

皆さんに知ってもらい サポートの輪を広げたい

参加者からは、市のスポーツ教室に、STT(視覚障害者用の卓球)など、視覚障害者と健常者が一緒に行える種目を取り入れられれば、視覚障害者が前向きにスポーツに取り組めるのではという意見が出ました。

市は、教室参加者の理解を求めながら、種目に取り入れることも検討してみたいと説明しました。

最後に、参加者は「視覚障害者が積極的に頑張っていることを市民の皆さんに知っていただき、サポートの輪が広がることを願っています」と話しました。

